

此の如く廻る中腰下へ徑六丈大
 の岩穴ありは穴のやう穴の肉と云ふ類
 異秋の水晶の花のこちあり穴のあらき
 ちり更なる一輪くは穴より出たりと
 云々 按ズルニ是誠日リニ
 アラス神徳現をスルヘシ 又より軍一より少
 五掌よりあり真一丈斗り標は天と
 の岩石ニツと云ふかよく明蔵有と云
 とも水晶の葉の形ありと云ふの山

準く大和神水晶山日輪寺より奉る
 岩穴多金胎際く貫く云々
 東根と云ふの城主山田島傍に寺あり
 平朝臣長義と云ふ人の腹内多んばは罪
 ありとのとけ穴へて見えぬと云ふ者
 出く此ハ世世界より活権と云ふ
 は穴の内と云ふ一物有りは云々
 又後殊緒の山ありと云ふね生神あり